「水防災意識社会再構築ビジョン」に基づく利根川上流域の減災に係る取組

~令和2年度の取組状況~

令和3年5月26日

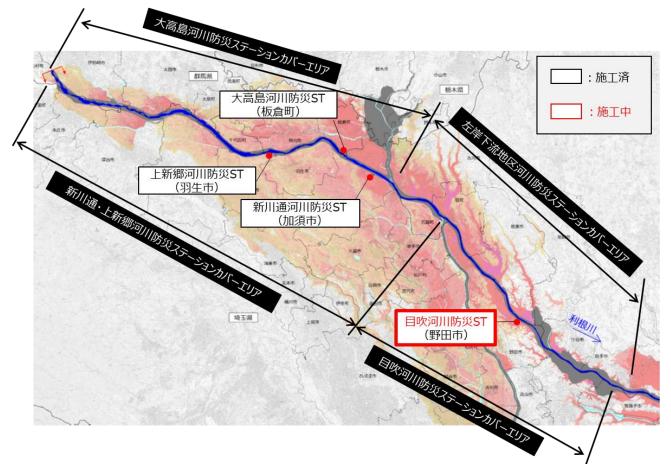
利根川上流域大規模氾濫に関する減災対策協議会

- 1. 令和2年度の利根川上流河川事務所からの支援/個別取組の支援
- 1)取組No.6:河川防災ステーションや水防拠点の整備 (目吹河川防災ステーション)

◆河川防災ステーション

○河川防災ステーションは、危機管理対策の一環として、洪水時に水防活動基地、ヘリポート、避難地等としての機能を有すると共に、災害が発生した際には復旧基地となる施設です。また、平常時には河川巡視の中継所やレクリエーション・地域住民の交流の場として活用できる施設です。

利根川上流管内では、3か所の河川防災ステーションが完成しており、現在、目吹河川防災ステーションの整備を進めています。





目吹河川防災ステーションでは、資材の備蓄を確保することで、洪水による河川の災害時における緊急復旧活動が可能となります。

目吹河川防災ステーションの現状 (R2.4) 時点

- 1. 令和2年度の利根川上流河川事務所からの支援/個別取組の支援
- 2) 取組No.6:河川防災ステーションや水防拠点の整備 (北川辺水防拠点、部屋防災拠点)

◆水防拠点

○水防拠点とは、河川堤防沿いに洪水時にも冠水しない高さに盛土され、緊急復旧活動、資機材備蓄、水防倉庫等のためのスペースを確保し、ヘリポートや車両交換場所等を整備した場所のことです。

利根川上流管内では、北川辺地区の水防拠点が完成し、部屋地区防災拠点の整備を進めています。

利根川上流河川事務所 水防拠点配置図



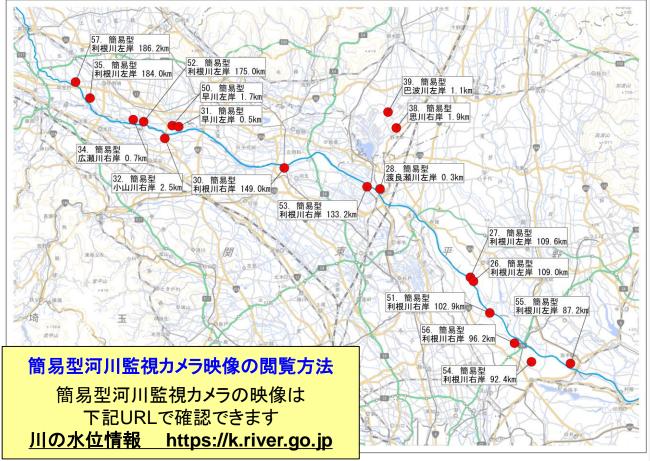
部屋防災拠点 (栃木県栃木市藤岡町部屋地先) 栃木県小川市 栃木県栃木市

3) 取組No.3、4: 簡易型河川監視カメラの整備

簡易型河川監視カメラは、洪水時や平常時の河川の状況を監視できる低コストなカメラで、これまでカメラが無かった河川や地先レベルでの"きめ細やかな監視"が必要な河川への普及を促進し、危機管理型水位計と合わせて監視網の充実を図ることができます。

利根川上流管内では、令和2年度に18箇所の設置が完了しました。

簡易型河川監視カメラ設置箇所図 <利根川上流>



◆利根川左岸104.3k 坂東市むしろ打の観測状況



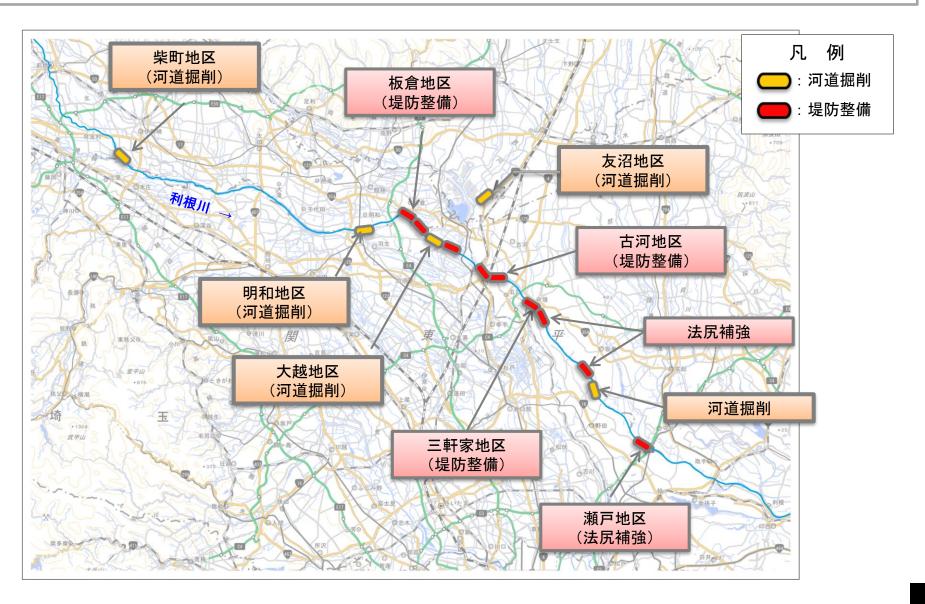
簡易型河川監視カメラのイメージ(平常時)



簡易型河川監視カメラのイメージ(洪水時)

4) 取組No.1、2: 河道掘削、堤防整備の推進

令和2年度は、図に示す地区において「河道掘削等による氾濫リスクの低減」や「堤防の整備」を行いました。



5) 取組No.1、2: 利根川・江戸川流域治水プロジェクト【利根川上流区間】

○ 令和元年東日本台風では、各地で戦後最大を超える洪水により甚大な被害が発生したことを踏まえ、1都5県にまたがり、首都を擁した関東平野を流域として抱える利根川・江戸川においても、事前防災対策を進める必要があり、以下の取り組みを実施していくことで、国管理区間においては、利根川本川の堤防が決壊し、流域で甚大な被害が発生した戦後最大の昭和22年9月カスリーン台風と同規模の洪水に対して資産の集中する首都圏中枢部での越水を防止し、流域における浸水被害の軽減を図る。

土砂災害対策

■氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

- 洪水氾濫対策(堤防整備、河道掘削、橋梁架替、調節池の整備、利水ダム等の事前放流)
- ▶ 砂防堰堤等の整備(いのちとくらしを守る土砂災害対策)
- 流出抑制対策(条例等に基づく開発行為に対する流出抑制の 指導・促進、下水道における雨水幹線の整備・雨水貯留施設の 整備、自然地の保全、水田貯留、森林の整備・保全、治山対 策、雨水貯留浸透施設設置への助成制度、開発許可での雨水 貯留浸透施設設置の義務付け)等

■被害対象を減少させるための対策

- 水災害ハザードエリアにおける土地利用・住まい方の工夫 (高台避難地の整備、立地適正化計画の策定による水害リスクを 考慮したまちづくり、土地利用規制、宅地開発等に関する指導要綱の制定)
- ▶ まちづくりの活用を視野にした土地の水災害リスク情報の充実
- ➢ 浸水範囲の限定・氾濫水の制御(止水板等浸水防止施設設置の助成制度)等

■被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

首都圏氾濫区域堤防強化対策(右岸)の整備イメージ図

> 避難体制等の強化

(ハザードマップ及びまるごとまちごとハザードマップの整備促進、 水害リスク空白域の解消、要配慮者利用施設の避難確保計画作成の促進、講習会等によるマイ・タイムライン普及促進、作成支援、 地域住民や小・中学生等を対象とした防災教育の推進)等

情報発信の強化

首都圏氾濫区域

堤防強化対策

(プッシュ型情報配信、防災無線等を活用した情報発信の強化、 危機管理型水位計、簡易型河川監視カメラの設置) 等

川裏のリ勾配フ瀬川区域 : 用地質収



森林の整備・保全【群馬県】

ダム再編(容量振替)

雨水貯留タンク

事前放流

須田貝ダム

事前放流

砂防堰堤の整備

6) 取組No.31、32、33 防災教育の支援/小中学生を対象とした防災教育の実施

茨城県五霞町立五霞中学校での出前講座(令和2年9月1日)

茨城県西生涯学習センター主催により、各関係機関が連携し、五 霞中学校の2年生の生徒、教職員、PTA、民生委員の方々を対象に 、防災教育を実施しました。防災科学技術研究所による防災講演、 利根川上流河川事務所、五霞町生活安全課から利根川や避難に関 する講話が行われ、その後、茨城県防災・危機管理課の指導で、グ ループワークによるマイタイムライン作りを行いました。

目的と成果

■目的

● 大規模水害に対する「逃げ遅れゼロ」を目指し、利根川上流域における 「防災教育の促進」のための支援を行っています。小中学生を対象とし た防災教育やマイタイムラインづくりの支援、教職員等を対象とした講習 会等を実施し、防災意識の向上や適確な避難行動につながる防災知識 の普及を図ります。

■成果

- 助災や利根川の専門家による講習会により、五霞町の災害の特性や避難の必要性について学習することができました。
- 生徒がマイタイムラインづくりを行うことで、実際の避難行動を確認することができました。また、生徒が地域の防災リーダーとして今後学校内や地域にマイタイムラインを普及する予定です。さらに、家庭で話し合うことで家族の避難行動の確認につながります。
- 出前講座を通じて、学校や地域が、国や県、町の防災関係者と情報共有を図ることができました。

■ 出前講座やマイタイムライン作りの講習会を関係市区町で開催し、防災 意識の向上、マイタイムラインの作成・普及を推進していきなす。

<開催概要>

日 時: 令和2年9月1日(火) 13:15~15:30

場 所:五霞町立五霞中学校 体育館

参加者:五霞中学校2年生、教職員、PTA他 約100名



講演の様子



マイタイムライン作りの様子)

7) 取組No.31、32、33 防災教育の支援/出前講座

幸手市出前講座(令和2年10月6日)

幸手市民生委員・児童委員30名を対象に、防災教育支援として「出前講座」を開催しました。テーマは「利根川上流域の洪水リスクと水害マイタイムラインについて」で、始めに利根川上流域や幸手市の水害特性や水害リスクについて理解を深めたうえで、マイタイムラインの作成について学習しました。新型コロナに配慮し、参加者同士の間隔を広く確保して開催しました。

目的と成果

■目的

● 大規模水害に対する「逃げ遅れゼロ」を目指し、利根川上流域における「防災教育の促進」のための支援を行っています。地域の高齢者や子育ての支援を行っている民生委員・児童委員の方々に、地域の水害リスクやタイムラインについて理解を深めていただくことで、災害時の要配慮者等の適切な支援に役立てます。

■成果

- 出前講座に参加した民生委員・児童委員の方々が、地域の水害リスク やマイタイムラインについて学習することができました。
- 民生委員・児童委員の方々の防災意識の向上により、災害弱者への 支援につながります。
- 本年度は新型コロナの影響で出前講座の開催が減少する中で、感染に配慮して開催することができました。



● 今回の出前講座の情報を関係市区町で共有し、継続的に出前講座を 開催し防災教育や防災知識の普及を推進します。

<開催概要>

日 時:令和2年10月6日、14:00~ 場 所:ウェルス幸手 研修室

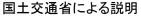
参加者:幸手市民生委員、児童委員 30名





新型コロナに配慮した開催状況







タイムライン学習の様子

8) 取組№31、32、33 防災教育の支援/水防学校の開催支援

板倉町水防学校の開催支援(令和2年9月17日、10月13日)

板倉町と連携して、小学校の4年生を対象に、大高島河川防災ステーションで、水防学校を開催しました。今年は新型コロナに配慮し、屋外中心に河川防災ステーションの施設や災害対策車の見学、板倉町消防署職員による水嚢づくり体験を行いました。屋内では、動画を使った災害やマイタイムラインについての学習、洪水に関するクイズ、板倉町職員から新しい防災マップ(ハザードマップ)の説明を行いました。10月の開催には板倉町長も参加し、開校の挨拶をされました。

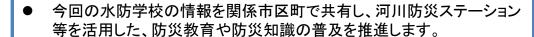
目的と成果

■目的

● 大規模水害に対する「逃げ遅れゼロ」を目指し、利根川上流域における「防災教育の促進」のための支援を行っています。河川防災ステーションや災害対策車両を実際に見学したり、マイタイムラインを作成することで、小学生やその家族の防災意識の向上を図ります。

■成果

- 水防学校に参加した小学生や学校関係者は、直接、防災施設を見たり、マイタイムラインについて学習することができました。
- 河川防災ステーションや水防センターの機能を小学生や教員や町役場の関係者にPRすることができました。
- 毎年継続して水防学校を開催することで、洪水時における板倉町と利根川上流河川事務所の信頼関係が構築されます。



<開催概要>

日 時: 令和2年9月17日、10月13日 9:00~12:00 場 所: 大高島河川防災ステーション(水防センター) 参加者: 板倉町立東小学校、西小学校 4年生 128名



板倉町長あいさつ(10月13日)



防災ヤードの説明



水嚢づくり体験



災害対策車の見学



CANCELLA CONTROL OF THE PROPERTY OF THE PROPER

屋内での動画を使った学習

- 1. 令和2年度の利根川上流河川事務所からの支援/個別取組みの支援
- 9)取組No.25:広域避難を考慮した被害シナリオと緊急避難及び

広域避難計画の策定

第5回 利根川中流4県境広域避難協議会の開催(令和2年6月26日)

- 利根川氾濫時の"逃げ遅れゼロ"を目指す利根川中流4県境広域避難協議会の第5回協議会を令和2年6月26日にWEB会議で開催しました。
- 令和元年東日本台風(台風第19号)で初めて広域避難を実施した際の経験を踏まえ、利根川氾濫における広域 避難の基本方針として「広域避難のタイミング」「広域避難先の考え方」「社会的な啓発等」について取りま とめました。

【日時】令和2年6月26日(金)15:00~16:00

【会場】WEB会議

【出席】<u>アドバイザー</u>

東京大学大学院 片田特任教授

メンバー

板倉町長、加須市長、古河市長、 境町長、坂東市長 、館林市長(代理) 、 佐野市長、利根川上流河川事務所長、気象庁 オブザーバー

野木町長、栃木市長(代理) 群馬県、埼玉県、茨城県、栃木県、



利根川上流河川事務所での会場の様子



WEB会議の様子

板倉町長	加須市長	片田特任教授
古河市長	境町長	坂東市長
佐野市長	野木町長	館林市長(代理)

10) 取組No.48:排水訓練の実施(災害対策用機器操作講習会の実施)

・災害発生時に、国土交通省が保有する災害対策用機械を迅速かつ確実に操作が行えるように、河川事務所職員、 災害協定締結会社及び沿川自治体職員を対象に操作講習会を行っています。

・本年度は、新型コロナ対策として、合同による講習会は中止とし、配布資料による座学講習と見学を中心とした少人数で の実地講習会を実施しました。

<実地講習会の開催概要>

時:令和2年8月3日(月)、9月1日(火)、10月1日(木)

場 所:上新郷河川防災ステーション 対象機械:排水ポンプ車、照明車

参加者:22人(3日間計)

災害協定締結会社 11名(5社) 沿川自治体(※) 7名(5団体)

国土交通省職員 4名(利根川上流河川事務所)

(※) 自治体内訳

(埼玉県) 羽生市、加須市

(茨城県) 坂東市 (千葉県) 柏市 (栃木県) 佐野市



感染症対策(アルコール消毒)



感染症対策(間隔の確保)



ポンプ重説明



ポンプ持ち上げ



照明車説明



照明車操作

11)取組No.50:水害に対応した企業BCPの策定への支援 水害対応版BPCセミナーテキスト案の作成

◆群馬県、栃木県を対象とした「水害版企業BCP作成支援」の取組

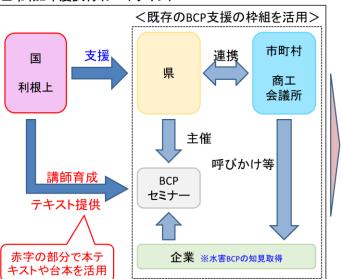
- ・水害版企業BCPの課題を踏まえ、国土交通省が検討を進めている「企業における事業継続のための浸水対策ガイドブック」を活用したBCP策定支援ツール(テキスト)、BCP普及のための広報資料を作成しました。
- ・令和2年度は、群馬県、栃木県を対象に、既存のBCP支援の枠組みを活用した支援体制について検討しました。
- ・次年度以降、支援体制・方法の確立、他県への横展開を図っていく予定です。

<水害版企業BCP策定の課題>

- ①自治体の企業BCPの推進は主に<mark>都県の商工部局や市町の商工会議所が主体</mark>となって進めており、減災協議会メンバーである防災担当との接点があまりない。(施策連携の欠如)
- ②地震版は作成済であるが水害のリスク認知が低く意識が低いため、水害版が未策定。(水害のリスク認知向上)
- ③地震版とは異なる、水害版BCP特有の策定のポイントを都県のBCP策定支援事業に反映できていない。(BCP支援事業の拡充)

水害版BCP作成支援におけり関係者の役割と展開(案)

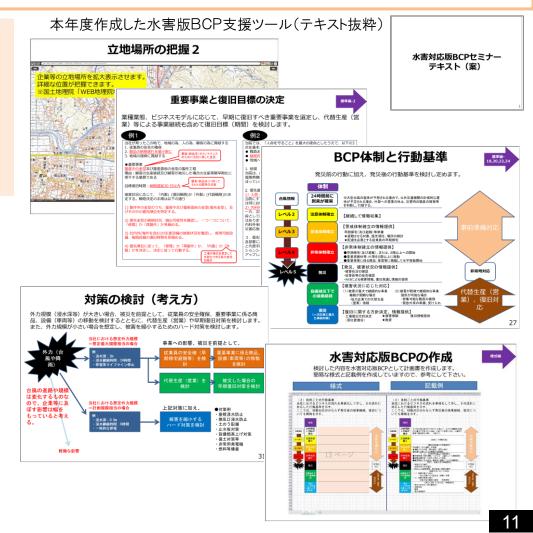
■令和2年度試行(プロトタイプ)



■令和3年度以降

支援体制•方法





12) 取組No.3:雨量水位等の観測データ基盤整備

(事務所ホームページに追加するポータルサイトを構築)

○「利根川上流域大規模氾濫に関する減災対策協議会」の情報ポータルサイトを構築しました。このサイトを閲覧すると、 「協議会の取組の概要や個別の取組の事例・活用ツール」と「リアルタイム防災情報」が確認できるようになります。

【1】協議会の取組を支援するコンテンツ

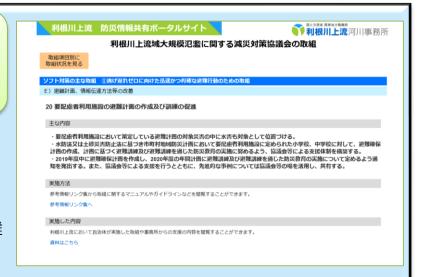


ポータルサイトトップ画面

協議会内の先行事例の 内容、作成資料、段取り 等を確認できるページ

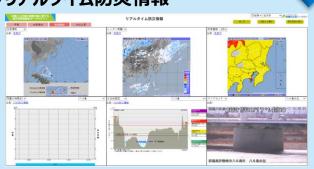
- ●個別取組の共有・推進に 向けた支援(1)
- ・協議会内の個別取組の先行事 例紹介

(例:要配慮者利用施設の避難確保計画作成に係る講習会/ 防災教育指導計画関連資料等)



各自治体が監視すべき基準観測所の水位・カメラ映像などを集約表示

●リアルタイム防災情報



個別取組を進める際の参考資料のリンク集を用意

- ●個別取組の共有・推 進に向けた支援(2)
- ・個別取組を進める際のマニュアル・ツールの共有

